



エコネット通信

VOL.35



森フェスで参加者がつくった木の枝のオブジェ。

森を川をこの里の自然を子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

Morito モニターツアー 夏編

森フェス2023 in 遠野・秋編を開催！

雨の森での開催

森の豊かさ、素晴らしさを市民の方々に感じて頂きたい。このような想いで、昨夏に始めた森フェスを、今年は夏に続いて秋編として10月15日(日)に、薪の駅近くの松崎町内の森にて開催しました。この日の参加者は関係者を含めて85名。メインステージでは森ヨガが始まった頃から、森の木々の隙間から雨粒が落ちてくる状況でしたが、ステージでのイベントの他、各種ワークショップやマルシェなどを予定通り開催しました。

ナバさんのお話しと体験会

今回のメインゲストは、岐阜県立森林文化アカデミー教授の萩原裕作(ナバ)さん。子どもと森をつなぐ様々なプログラムを実践しています。ナバさんは、11時から1時間、「そるそる森にかえりましょー」というタイトルで講演。日本初の森林教育センターであるmorinos(モリノス)の活動や、ドイツの



森での遊びを説明するナバさん。

自然体験施設を視察した報告など、森と人をつなぐお話しを聞きました。その後は、参加者からの質問を受けながらの対話となりました。また、ナバさんは13時から森であそぼう「木の枝チャレンジ！」という体験会を開催。子ども達が中心となり、森の中で木の枝を拾って、どんどん遊びを展開しました。

音楽・体験・マルシェも

メインステージでは、朝の森ヨガ(mariko yoga)の他、スガちゃんやデクノボーブラザーズの音楽演奏。また、馬搬振興会による馬車の運行や、木暮工房による「木の板名前当てクイズ」も行われました。また各種体験会として、夏の森フェスにも



体験コーナーで自己表現アート体験をする子ども達。

参加いただいたシェアリングネイチャー協会さんの「落ち葉のステンドグラスづくり」。遠野美術クラブの「色鉛筆で植物を描こう」。の他、新たに、handcraftゼブラさんお「木の首飾りづくり」。つきもさんの「枝のトレーづくり」。ももばち工房の「自己表現アート」。遠野ヒツジの会の「羊毛でコロコロ玉づくり」。デザイン茶室マフマフさんの「バイオネストづくり」の体験会が行われました。

またマルシェコーナーでは、まめひこの自家焙煎コーヒー、つくしファームの一銭焼き、遠野食工房蔵のクマ油や農産加工品、たまたまの手作り品や木版画カード、おのひづめさんの炭焼きピザ、あやおりHOTCATの各種料理などが販売されました。

会場内には、スタッフが焚火を集めて焚き火をつくり、焚き火を囲んでフォークダンスを踊ったりして、雨で冷えた体を温めることが出来ました。



森フェス会場では、雨の中で焚き火を囲んでのフォークダンスを楽しみました。

moritoモニターツアー秋編 10/28(土)～29(日)

森林資源を活かした新たな魅力発信を旨とするmoritoプロジェクト。そのツアー事業として、今年度は各季節毎にモニター参加者を募ってモニターツアーを開催しています。秋編は、薬師岳山麓の紅葉が例年ピークを迎える10月末の週末に日程を設定しました。今回のタイトルは、「秋の森に染まり、自分の源にかえる旅」。一般参加者4名の他、スタッフ6名が参加。今回のメインプログラムは、ツキノワグマも生息する森にて、ソロテント宿泊。夜は焚き火を囲んでの「野生にかえる」ワークや語りにムーンライトウォークも行いました。また千葉桃さん(ももばち企画)による、森の中での自己対話&自己表現ワークやMariko yogaによるヨガと瞑想、おのひづめさんのスペシャルランチも楽しみました。



ツアーのクロージングでは、自己表現アートを発表しました。



11月の森のデイキャンプ&ようちえんにて、森遊びの様子。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」 10/14(土) 11/11(土)

10月は、参加者15名にスタッフ8名と岐阜県立森林分かアカデミー教授の萩原裕作(ナバ)さんも来て頂き開催しました。午前中はオッホーの森で森遊びを。午後は、春に種まきをし育てた稲の収穫である稲刈りも行いました。また、終了後に、ナバさんを囲んで、お話し会も実施できました。11月の参加者は19名。この日は午前中はオッホーの森への森探検。午後は、先月稲刈りしてハセ掛けして乾燥させた稲の脱穀作業をしました。脱穀は足踏み脱穀機を使用。子ども達は、交代で、脱穀機の歯車を回転させながら脱穀しました。また、脱穀した粃を、唐箕を使ってゴミを飛ばす作業も体験できました。



5月に植樹したミズナラの苗後の成長を記録する小学生達。

水源の森づくりプロジェクト・土淵小学校4年生体験 10/2(月)

遠野市の水源地である琴畑高原を森に再生するプロジェクト。今年度も、土淵小学校4年生13人とともに、5月の事前学習会と植樹、7月の苗木周辺の草刈りを行ってきました。この日は、植樹した苗木を確認した後に、周辺の林道を歩いてどんぐり拾い。ところが、今年はどんぐりが全く見つかりません。そこで、落ちてくるクリの実を拾いました。その後、学校へ戻り、校庭の苗木に拾ったクリの実を播きました。



猿ヶ石川の支流である小友川での調査の様子。

猿ヶ石川魚類等モニタリング調査 10/20(金)

多様な生き物が生息する豊かな猿ヶ石川を再生させる「猿ヶ石川再生プロジェクト」として、当会では平成27年より5箇所モニタリング調査を継続実施しています。この日の調査は、6名のスタッフで、小友川・早瀬川・小鳥瀬川と猿ヶ石川の中流である松崎と上流部の附馬牛で各20分間調査を行いました。この調査は、来年で10年目の区切りとなるため、データをまとめて関係機関などへ報告し、今後の猿ヶ石川のあり方を検討して行きたいと考えています。



森楽倶楽部で、オオウバユリの種を飛ばす奥畑氏(右端)。

森楽倶楽部 11/4(土)

この日は9名の参加者があり、この夏にアメリカから遠野に移住したご家族も初参加してくれました。紅葉で森が色とりどりに染まる中を、宮古市川井から奥畑充幸氏を講師に迎え、薪の駅近くの実習林を中心に自然観察を行いました。クリタケやムキタケなど食用になるキノコもたくさん見つかかり、キノコ好きの子どもが大興奮していました。

活動報告 (10月～11月)

山仕事ははじめの一步(入門)講座 10/8(日) 11/12(日)

10月の講座には11名が受講。この日は、松崎町の杉林にて造材の実習。間伐材を利用するためには、枝払いして、寸法に玉切りする必要があります。枝払いが間伐より技術と体力が必要。玉切りも、倒れている木の重力がどのように働いているかを適正に見極めないと、チェーンソーが木に挟まってしまいます。受講生は、先生方のアドバイスを受けながら、上手に行っていました。11月の講座は5名の参加となり、先生と受講生がマンツーマンで指導できました。この日は、杉林にて枝打ちの実習。現代の建築工法では、柱が表面に出ない場合が多いため、無節の柱材の需要が少なく、枝打ちもされなくなっています。しかし、枝打ちを適期にする意義は大きいため、その正しいやり方を実習しました。その後は、間伐を実習しました。



10月の山仕事講座では、伐採した木の造材について学びました。

炭っこ倶楽部・遠野北小学校4年生炭焼き体験 11/22(水)

この日は、遠野北小学校4年生52名+教師・保護者7名が参加し、スタッフも指導者である千田淳氏(北上市・窯元楽炭)他10名の体制で、薪の駅にて炭焼き体験会を開催しました。小学生は、炭窯からの炭出し、出した炭の炭切り、丸太を手鋸での輪切り、そして薪割りという4つのグループに分れ、それぞれをローテーションで体験しました。子ども達は、炭窯に入ることも、薪を割るのも初めての子どもばかり。炭窯から出て来て、黒くなっている顔を見て笑い合ったり、丸太を切るのに苦労したり、薪割り斧を持ち上げられなかったり。ふだんの教室とは違う環境で、貴重な体験だったと思います。最後には、子ども達を薪の駅の隣の森の中に案内し、間伐等の山の手入れの意義を説明し理解を深めて頂きました。



炭窯から運び出した炭を、30センチに手鋸で切る小学生達。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 10/1(日) 11/5(日)

10月の薪づくりは、気持ちのよい快晴のもと、17名の参加者と薪づくりを行いました。また、この日は、森の笠地蔵プロジェクトとして、附馬牛町の一人暮らし高齢者宅に軽トラック2台分の薪を配達しました。11月の薪づくりは21名が参加。冬の足音が近づく中で、薪の確保のために、多くの参加者が訪れています。また笠地蔵プロジェクトでは、上郷町1軒と宮守町鱒沢地区2軒に軽トラック5台分の薪を配達し、鱒沢地区のお家では煙突掃除も行いました。



10月の薪づくり倶楽部。間伐材が次々と薪になっていきます。

森業倶楽部 10/22(日) 11/26(日)

10月の森業倶楽部は7名が参加し、6月に貞任高原の実習林で採集したヤマブドウの皮を使用して、鱒沢町の佐藤秀夫氏(花香房)の指導でカゴづくりを行いました。また11月は8名が参加し、上郷町の菊池光典氏(木暮工房)の指導いただきながら、間伐材の木工づくりに取り組みました。ベテラン参加者が、小屋にある薪ストーブに合うテーブルを作って持って来て頂きました。



10月の森業倶楽部で、完成したヤマブドウのカゴと参加者。

間伐倶楽部 11/25(土)

11月の間伐倶楽部は、朝から雪が降り続くという寒い一日でしたが4名の参加者とスタッフ3名で、貞任実習林でアカマツの間伐・造材を実習しました。冬期間の山仕事の厳しさも楽しさも実感できたと思います。



11月の間伐倶楽部は、雪の中での間伐体験となりました。

主な活動の予定 (12月～1月)

月日	タイトル	内容	活動場所
12/2(土)	森のデイキャンプ&森のようちえん	森探検、しめ縄づくり	オッホーの森他
12/3(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
12/10(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	集材・間伐の実習他	松崎実習林他
12/12(火)	山の神様の年取り	参道補修作業他	遠野町実習林
12/16(土)	オッホーの森歩き	森での自然観察他	森のがっこう
12/23(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
12/24(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
1/7(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
1/13(土)	森のデイキャンプ&森のようちえん	森探検、新米ごはんづくり他	オッホーの森他
1/13(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
1/13(土・夜)	森のがっこう活動報告&新年交流会	エコネット会員・関係者他	民宿みちのく荘
1/14(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	安全講習他	松崎地区センター
1月中旬	炭っこ倶楽部	炭焼き体験会	薪の駅炭窯
1/20(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
1/26(金・夜)	ムーンライトハイキング	満月の下での雪原歩き	オッホーの森他
1/27(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
1/28(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅

【編集後記】

2023年も残りわずかとなりました。国内でも海外でも、実に激動の時代を迎えていると実感しています。中でも、地球温暖化の影響は、年々深刻さを増しています。

当会では、「森のがっこう」の本オープンに向けて、スタッフでその運営体制などについて検討を進めています。年度内には「オッホーの森の家」も完成し、その利用も始まります。この場を、森と人の関係を取り戻すための新たな拠点とし、新たな事業も展開して行きたいと考えています。来年1月13日(土)に、久しぶりに新年会を開催しますが、それと併せて、「森のがっこう」の報告会も行います。皆様の参加をお待ちしています。(千葉)

発行:NPO法人遠野エコネット

令和5年12月8日発行

岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530

Tel&Fax 0198-64-2250

E-Mail:pahaya@tonotv.com



11月12日にオッホーの森の家の上棟式を行いました。

8月に着工した「オッホーの森の家」ですが、11月12日(日)に上棟式を開催しました。この日は、スタッフが早朝からお供えや餅まきにする餅つきを行ない、大工さん達が、棟木に5色の旗や矢羽根飾りを取りつけ、1階部分には紅

遠野・森のがっこう便り その4

白の幕を張り、祭壇が設営されました。上棟式では、建築関係者とエコネットスタッフが神事に参加し、参拝をしました。神事では、建物の四方を御神酒と塩で清めるなど、当地域特有の伝統的な風習も執り行いました。その後、いよいよ餅まきとなり、先ず大工さんが、隅餅という大きな餅を4隅から投げ、次にエコネットスタッフも足場に登り、集まって頂いた地域の人達に餅まき&お菓子まきを行いました。また、上棟式では、大出早池峰神楽保存会による権現舞も奉納していただき、工事の安全を祈願しました。森の家の完成は2月末の予定です。これからは雪の季節となりますが、工事の進み具合などを見学いらしてくださいませ。